

## 「昇華」

260302

今日の3年生を送る会は、すばらしい会になりました。会を見ていて思い浮かんだ言葉、それは「昇華」です。

長い時間をかけて練習してきた学年の出し物や生徒会の進行。練習の段階ではなかなか見られなかった子どもたちの動きや歌声が、本番になって見違えるようなレベルのものになっていたと聞きました。ワンランクアップした出し物、スムーズさになったのは、繰り返し積み上げてきたものがあったからこそだと思います。

そして、その姿は支えてきた先生方の動きがあればこそだと思います。出し物の内容を検討する段階から議論を重ね、この子どもたちが一番輝くためには、どんな手段、どんな内容がベストなのかを練り上げてきたと思います。そして、決まっただけからはそれぞれの役割分担のもとで、声をかけ、時間を作り出して見守り、見届けてきてくださったことがつながっています。一人一人の先生方の陰に、日向にの動きに感謝しています。

また、今回の送る会では、進行のスムーズさが際立っているように感じました。会そのものに集中して、よそ事を考える隙を与えないほど、つながりのある、流れるようなテンポで進められました。まさに送る会の世界に没頭してしまいました。そのための準備の苦労は計り知れないものがあったと思います。

それらが、全校合唱「ふるさと」の二人の指揮者が背中合わせに指揮を振っているあの瞬間の姿に「昇華」したのだと思います。すべての努力がああ歌声に集約され、体育館になんとも言えない温かな空気が生まれました。昇華した最高の「ふるさと」をああ空間で聞くこと、触れることができ、幸せを感じる事ができました。

幸中生に、先生方に感謝しています。素敵なお送る会をありがとうございました。卒業式につなげていきたいです。よろしくお祈りします。

